立志篤行 110 年

「集え 永遠の士君子たち。思いは一つ 110 の原点へ」

祝賀大同窓会

▲会場には江原会員をはじめ来賓、恩師ら約 1450 人が集った

▲ 110 周年担当学年（高 30 回）内田さん他のチェロ演奏で歓迎

永田　求
110 周年実行委員長

永野光哉
顧問

松尾新吾
江原会副会長

米満弘之
江原会長

▲現役高校生による江原太鼓の演奏

岩永研一
済々黌高校同窓会長

山本隆生
熊本県教育長

寺﨑秀俊
熊本市副市長

中原伸一
熊本高校長

▲青年江原会の藤崎八旛宮秋季例大祭のアトラクション

熊本県立熊本高校同窓会・江原会（米満弘之会長）は10月30日、熊本市上通町のホテル日航熊本で、熊本中学校・熊本高校の創立１１０周年記念式典および祝賀大同窓会を開いた。

当日は全国の江原会員をはじめ、来賓や恩師ら約１４５０人が参加し、母校の節目を祝った。会では１１０周年事業報告、江原太鼓演奏や恩師紹介、藤崎八旛宮秋季例大祭のアトラクションや校歌斉唱などが行われ、参加者は当時を懐かしみ談笑した。

米満会長は「創立１１０周年という栄えある節目を記念して、江原会は広く県民の皆さまにも参加していただける事業を行いました」と話している。

▲「西に金峰 東阿蘇…」。最後は校歌斉唱で締めくくった

▶記念式典には生徒や教員ら1400人が出席した

▲式典終了後は熊本県立劇場で狂言師の野村万作さんらによる公演があった

▲記念式典には江原会の役員らも多数出席

熊中・熊高創立 110 周年記念式典

生徒ら 1400 人で盛大に祝う

小杉　直
県議会議長

古荘文子
県教育委員長

中原伸一
校長

森　徳和
育友会長

米満弘之
江原会長

小崎良伸
勇心館高校長

熊本県立熊本高校（中原伸一校長）は10月29日、熊本市新大江の同校体育館で「熊中・熊高創立110周年記念式典」を開いた。

生徒や教員、江原会関係者ら1400人が出席。はじめに中原校長が「当校は明治33年に創立以来、教育理念である士君子の養成を目指し、これまで約3万8千人の同窓生を輩出してきました。この110年で築き上げてきた信頼に甘えず、今後も国際社会をリードする人材育成に努めていきます」とあいさつ。その後は来賓や在校生代表あいさつがあり、最後は校歌斉唱で締めくくった。

「国際社会をリードする人材育成を」

中原伸一　熊本高校長あいさつ

当校は明治33年、県民や地域の熱い期待を受け創立しました。一幹両枝により誕生した熊本県中学第二済々黌が前身で、その後、熊本県熊本中学校となり、明治37年には現在地（当時・飽託郡大江村）に新校舎を建設し、藪の内校舎から移転。昭和23年の学制改革で熊本県立熊本高校と改称し現在に至りその間、輝かしい発展を遂げてきました。110年の歴史の中には、紆余曲折があり、中でも第2次世界大戦中は最も苦難と混迷を辿った時期でしたが、職員や生徒が一体となって乗り越えてこられました。

当校の教育理念は士君子の養成であり、勉学だけでなく体育や文化の分野でも成績を馳せました。これまで当校を巣立った約3万8千人の諸先輩の期待に応え、建学の精神は110周年を向かえ、次世代へ受け継がれていくことでしょう。今後は、これまでの伝統や歴史を顧みるだけでなく、さらなる献身を重ね、新たな歴史を切り開いていかなければなりません。歴史は時間の集積ではなく、未来への礎（いしずえ）です。当校はこれからも110周年で築き上げ蓄えてきた信頼に甘えることなく、視野をさらに広げ、国際社会をリードする人材育成に努めていきます。

記念フォーラムで「新時代のリーダー」を考える

創立110周年実行委員会

創立110周年実行委員会（永田求実行委員長）は10月31日、熊本市水前寺公園のホテル熊本テルサで記念フォーラムを開いた。

「新時代のリーダーについて考える！～これからの社会を担うリーダーの資質と育成～」をテーマに開き、関係者400人が出席した。はじめに米満弘之・江原会長が「今回は、創立110周年記念事業における社会貢献事業として開催。これからの時代を担うリーダーの資質と育成について考えます。本日の提言が、熊本はじめ社会を元気にする一助になればと期待しています」とあいさつ。

第1部では、松尾新吾・九州電力㈱会長が「リーダーの資質、『深沈厚重』」をテーマに基調講演。第2部では、桑原隆広・熊本県立大学教授をコーディネーターに細谷英二・りそなホールディングス会長、山室信一・京都大学人文科学研究所教授、古荘文子・熊本県教育委員長、相澤宏輔・元慶応義塾大学野球部主将（三井不動産勤務）の4氏が「リーダー育成の土壌づくり」と題し、パネルディスカッションで意見を交わした。

▲「新時代のリーダー」をテーマに開いた110周年記念のフォーラム。関係者400人が出席した

▲基調講演をした松尾新吾・九州電力㈱会長

米満弘之 江原会長

▶各業界から卒業生が集まり、パネルディスカッションを行った。枠内は桑原教授

110年の歴史を学ぶ

芸術祭・歴史資料展

また、江原会は10月26日から31日まで、熊本県立美術館分館で芸術祭・歴史資料展を実施、一般公開した。

芸術祭で展示された書道・写真・美術・絵画の各展示品は、卒業生や在校生らによる出展。

資料展は、熊本高校や江原会館所蔵の資料などを『熊本中学校の成立まで』、『県立熊本中学校の発足』、『激動の昭和期に活躍』、『熊中から新制熊本高校へ』、『平成時代の熊本高校』と、時代ごとにまとめられ展示した。

中には、野田寛初代校長の卒業式での訓辞や福田源蔵校長の「校賦」の吟詠、現在の校歌とは微妙に違う校歌などを再現した音声を聞くことができる珍しいボックスなども設置した。

同会は「関係者および在学生をはじめ一般の方々に広く見ていただくことで、熊中・熊高が歩んできた歴史について深いご理解が得られるのでは」としている。

▲県立熊本中学校の発足について写真と説明書で紹介

▶当時の写真を見て懐古する見学者

◀昭和17年の随兵は現在とは異なり、武具などを身にまとって参加していた